

あかるく 元気に たくましく



広島市立広島特別支援学校

学校だより

広島特別支援学校 HP



令和3年度 10月号 TEL 082-250-710

「新型コロナ感染拡大防止集中対策」が終了しました

10月1日から取り組んできた標記の集中対策については、10月14日をもって終了しました。行動制限等は緩和されていくこととなりますが、安全対策を維持するため、本校においては当面、授業レベルを「新型コロナ感染拡大防止集中対策」期間の内容と同様に行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お子様の健康状態に注意しつつ、「新しい生活様式」（マスクの着用、咳エチケットや手洗い、3密を避けるなどの対策）を徹底するとともに、学校医や学校薬剤師等と連携した感染症対策を講じています。保護者の皆様には、児童生徒に風邪症状があった場合などには、病院での受診や御家庭で安静に過ごすことなど早めに対応していただき、ありがとうございます。今後も御理解と御協力をお願いいたします。

運動会は中止となりましたが、体育や自立活動の学習などで力を伸ばしています

小学部、中学部ともに、新型コロナ感染症対策のため運動会は中止となりましたが、児童生徒は、体育や自立活動の学習などで、これまで取り組んできた内容に継続して取り組み、それぞれ力を伸ばしています。

小学部は、「かけっこ」や「リレー」「ダンス」、「荷物運び競争」「玉入れ」などの種目に取り組みました。6年生は、応援演技のソーラン節の練習にも熱が入り、振り付けや小学部コール「フレー、フレー、小学部！」を何度も練習しました。



中学部は、10月11日から10月15日の期間に、体育発表会週間としてグループ別にそれぞれがサーキットや演技を行いました。練習の時よりもより一層力を発揮しようとする生徒の姿が多く見られました。笑顔いっぱいに取り組み、自分の力を出し切った体育発表会になりました。保護者の皆様にご覧いただきありがとうございます。当日の頑張りを御覧いただくのは大変残念ですが、当日の様子は、写真や動画で、学期末の懇談会で御覧いただく予定です。



教育実習が始まりました

10月8日（金）から10月21日（木）までの間、事前にPCR検査を受ける等の感染症対策を行った上で、3大学計17人の学生が、本校で教育実習を行っています。

始めは緊張していましたが、徐々に学級の児童生徒とも打ち解け、児童生徒とともに活動したり、担任に積極的に質問したりしています。約2週間という短い間ですが、本校で多くのことを学び、今後も、教員目指して取り組んでほしいと思います。



放課後には、校長、養護教諭、栄養教諭による講話も行いました。校長からは、教員としてはもちろん、人としての生き方についてもお話ししました。「自反尽己（じはんじんこ）」は校長の座右の銘で、意味は「相手を批判せず自分を反省すること」、簡単に言うと「いまくいつた時は『お陰様』うまくいかなかった時は『身から出た錆』」、校長室にも飾ってありますので、来校の際にはぜひお立ち寄りください。